

# 市民の暮らし応援の市政めざし 力を合わせがんばります



市議選後、第一回定例会市議会（3月11日～3月28日）が開催されました。市民の一年間の予算を決める大事な議会です。日本共産党市議団は、国の悪政と市民の暮らしを守る「防波堤」としての役割を發揮すると同時に市議選公約実現のために奮闘しました。

## 公約実現に全力をつくします

2月の大分市議会議員選挙は、定数44名（前回比2名減）に55名が立候補する多数激戦のもと、議案提案権を行使できる4議席確保をめざし、全力をあげ奮闘しました。しかし結果は1議席減となりました。投票率が前回から5・88%低下し、過去最低の51・68%となったことは、政治不信と閉塞感の表れではないでしょうか。

子どもの医療費無料の拡大、ワンコインバスの65才からの利用などが、みなさんと取り組むなかで実現しました。ひきつづき党議団は、今後選挙公約の実現のために全力を尽くします。

## 各議員の所属が決まりました

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <b>広次 忠彦 議員</b><br>●経済常任委員会副委員長<br>●総合交通対策特別委員会委員<br>●議会活性化推進会議委員<br>●大分県後期高齢者医療広域連合会議委員 | <b>斉藤 由美子 議員</b><br>●文教常任委員会委員<br>●子ども育成・行政改革推進特別委員会委員<br>●同和対策協議会委員<br>●広報委員会委員 | <b>福間 健治 議員</b><br>●厚生常任委員会委員<br>●地域活性化対策特別委員会副委員長<br>●国民健康保険運営協議会副会長 |
|--|--|---|

## こんにちは 日本共産党 大分市議団です

大分市荷揚町2番31号 市議会日本共産党控室  
電話 537-5695（直通）  
Eメール: occ-jcp@oct-net.ne.jp  
http://www.jcp-oitasigidan.com/  
2013年3月議会報告

## 市民の願い前進、 さつそく公約実現運動へ

### ●子ども医療費 小学校就学前まで完全無料に

子ども医療費助成の拡大は、子育て世帯の経済的負担の軽減と病気の早期発見・早期治療につながります。少子化対策の一步前進です。日本共産党もこれまで実現に向けて議案提案や運動をおこなってきました。実施は、今年の10月からです。



今回就学前の子どもさんたちの医療費無料化が実現し、とてもうれしく思っています。引き続き小学校卒業までの無料化を求めて、再度陳情していきます。  
新日本婦人の会大分支部  
支部長 森智子

### ●ワンコインバス利用が65才からに

高齢者の社会参加、通院・買い物不足として、定着してきたワンコインバス事業が、今年の7月から65才からに拡大されることになりました。高齢者が生きがいをもって暮らす支援として、関係者からたいへん喜ばれていました。対象者は3万人あまり増えることになりまます。こうした施策の拡充は、市民世論の反映です。

高齢者の待望のワンコインバスがまた一步前進しました。街中での買い物・通院、市役所など行政への用事など気軽にできるようなったことから、多くの高齢者が大変喜んでいました。  
全日本年金者組合大分支部  
支部長 緒方良勝

## 家庭ごみの有料化はストップを

### 市と市民の努力で 減量はできる

2月8日、大分市清掃事業審議会から『家庭ごみ有料化について』の答申が出されました。答申では、分別指導、拡大生産者責任、環境教育など、9つの留意点をあげています。こうした取り組みを市民のみなさんとすすめれば、有料化しなくても、ごみ減量をすすめることができるのではないのでしょうか。

### 手数料値上げの悪循環に

手数料の額が30円台のとき、16%から18%弱のごみの減量が期待できるとしています。目標に到達しないとき、ごみが増えたときには、値上げを繰り返すことにならないのでしょうか。

### デフレのなかで

新たな市民負担  
給料が上がらないなか経

### 事務局紹介



西村初美  
さんが議員団事務局長とな  
りました。議員団といっしょに要求実現にむけてがんばります。

### 市長が中止の英断を

市長が市民の事を真摯に聞くならば、有料化中止の英断を下せるはずですが。有料化は実施せず、ごみ減量・環境にやさしい街づくりをすすめることを強く求めます。

# 市民の暮らしと福祉の願いに 応える予算の組みかえを



## 総括質問

福間 健治 議員

【福間議員】一般会計は、対前年比7・3%減、歳入では市民税も固定資産税も減少。景気の低迷による市民の所得の減少などが歳入減の特徴です。

子ども医療費助成の拡大やワゴンコインバス利用拡大はわが党が市議選で公約した要求の予算化は大いに歓迎します。大分駅南区画整理事業は聖域、不公正な同和予算、企業立地促進助成金などの大企業優遇、職員給与削減の歳出となっています。暮らして福祉の願いに応える予算に組みかえを求めました。

【市長】中長期の財政収支を見通すなかで、持続可能で、安定的な財政運営を基本として、その時々時代の市民ニーズに的確に対応した予算編成に努める。

## TPP交渉参加反対を 政府に要求せよ

【福間議員】安倍首相は、3月15日にTPP交渉参加を正式表明しました。これは国民を欺き、公約を裏切り、農業、食料の安全、医療などをはじめ、国民生活と日本経済を土台から壊し、経済主権をアメリカに売り渡すもの

## ◆◆◆ 3月議会 ◆◆◆

## 一般質問より ◆◆◆

# 新たな産廃処分場の建設は中止を



広次 忠彦 議員

## 広次議員は、戸次と福

宗に、新たな産業廃棄物最終処分場の建設計画について、「大野川の清流が汚れ、天然鮎の孵化場が損なわれる」「大分川の水を守れ」などの声があがっていることを紹介し、水源域などへ処分場は建設すべきではないと要求しました。

環境部長は、「立地を計画する周辺地域の生活環境の保全に適切な配慮をおこなうように、指導助言している。指導や助言を厳格におこなうことが、水源の確保につながる」と答弁しました。

## 監督・指導の強化を

舟ヶ平の最終処分場は拡大され、「いつ崩れるか心配」「排水はだいたい臭いがある」などの不安の声を紹介し、排水、硫化水素の発生への厳しい指導を求めました。

## 住宅リフォーム 助成制度の創設を

各地の住宅リフォーム助成制度の実施状況を紹介し、実現に向けた取り組みを求めました。商工農村部長は「今後も一定の政策目的を有した住宅リフォームの助成事業に取り組む」と答弁。

# ばいじん対策は引き続き強化を!



斉藤 由美子 議員

新日鉄住金に対し、ばいじん公害の規制数値の低減と、被害補償も含めた計画な指導を行うよう求めました。

環境部長は「規制数値の見直しは行ってきた。また、国の調査では、大気汚染物質濃度と喘息等の呼吸器症状有症率との有意な関連性は認められていない。降下ばいじん量も県の目安を下回っており、被害補償の指導は検討していない。しかしながら、『粉じん対策3か年計画』や『環境保全計画書』を作成し必要な指導を行う」と答弁しました。

## 学校図書館支援員が拡充

明らかに被害が及んでいるばいじん公害を、直接的に認めようとはしません。継続して声を上げることが必要です。

市民運動で長く取り組んできた学校図書館支援員が、新年度から大規模校専任配置となりました。小中学校全校配置に向けた、大きな一歩です。支援員のスキルアップのため、研修の改善も求めました。よい学校図書館の実現を目指して、今後も運動を続けます。

現段階では、国保税の引き下げは困難。

## いじめをなくす対策を

【福間議員】「いじめ」はいかなる形をとろうとも人権侵害であり、暴力だとの認識にたつこと、また「いじめ」の放置・隠蔽が、「安全配慮義務」違反に当たるところを明確にし、学校と教育行政の基本原則とするように求めました。

【教育長】「殴る、蹴る」などの直接的暴力も、心理的な攻撃も相手に精神的ダメージを与えた場合などは暴力に値する行為として捉えるべき。児童生徒の安全に配慮すべき義務があることを原則に、強い気持ちでいじめ根絶に万全をつくす。

その他、介護保険の負担軽減、原発対策、防災対策、まちづくり、農林業の振興、同和行政などについても質問しました。